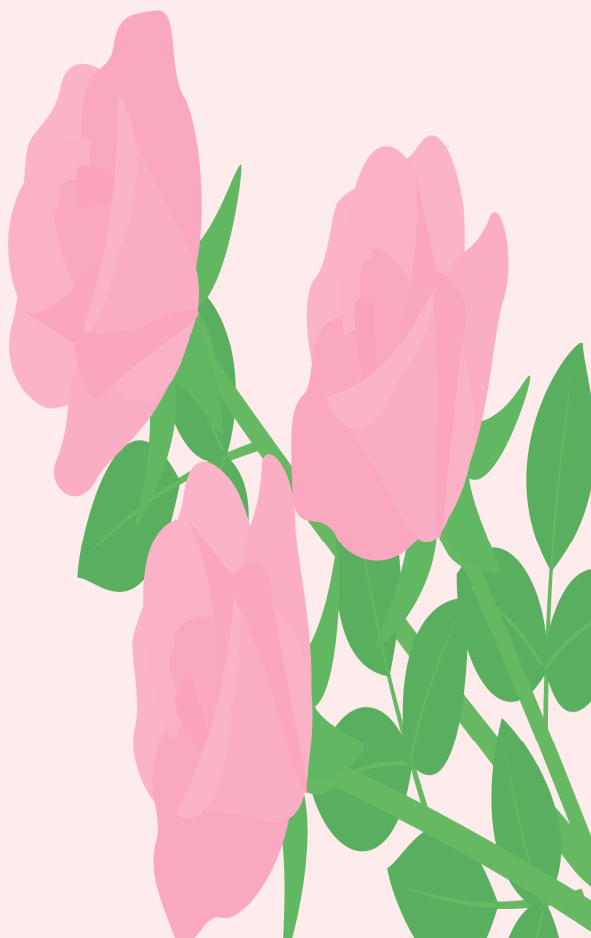
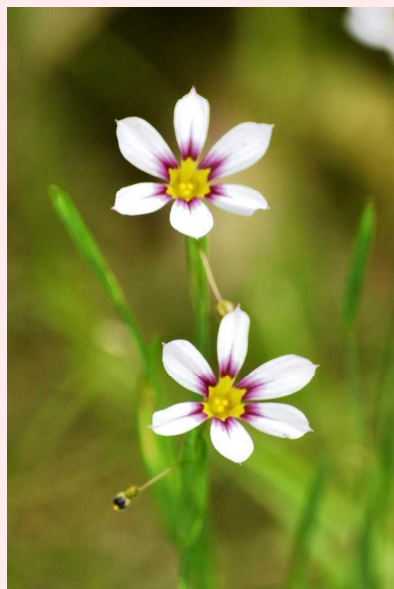




俳句

(2026)



目次

たべもの俳句	モロク俳句	徒然俳句
10 ↳	5 ↳	1 ↳

5月の和名「皐月（さつき）」は、早苗を植える時期「早苗月（さなえづき）」を略したもの。「早苗」とは稲の苗で、苗代から田に移し植える頃の大きさのものを指します。皐月の「皐」には「神に捧げる稲」という意味があることから、この字が当てられたと言われています。

(宇佐美保幸)メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに
巢鴨とげぬき徒然俳句
<https://blog-haiku.777usami.com>

後期高齢死ぬること忘れ更衣

今年また箭弓神社で牡丹見る
いまはいま牡丹の花に雨かゝる

竹ノ子の元氣見習え若者よ
柏餅まといつきたる入れ歯かな
柏餅子店に並べど少子化に

おたふくのお好みソースこどもの日
鯉のぼり100匹連ねど少子化が

カバの口大きく開き夏に入る
芍薬の赤き大輪に悩ましき

薔薇の字は吾に難し薔薇が咲く
薔薇の字は吾に難し薔薇の園
毎日が人生最後薔薇が咲く



リラどきはロックかジャズか迷いけり
リラ咲きて老いた余生に余韻あり
リラ咲くやパソコンからもモツアルト
散策の古き団地にリラの風

雨に濡れ牡丹崩るる闇の中
手を入れぬ鉢植え紫蘭丈伸ばし

新緑にすつぽり染まる小さき庭
もの憂げなアカシアの花我もまた

手入れせずされど今年もクレマチス

じゃんけんで落つる順番柿の花
柿の花生存競争落つにけり
柿の花落つる定めよいづれかが

キャベツ切るお好み焼きだ大量に



キャベツ買う産地確認納得し

金糸梅オールドタウンのロマンかな

百合の花花が終われどさらに伸び

空豆を無心に剥いて日が暮れる

空豆の塩加減よし酒を酌む
蚕豆の莢の内なる寝床かな

雨蛙愛嬌顔は生まれつき

薄暑かな着るもの選び迷いけり

芥子の花咲いて疎まれ阻害され

牛井屋店先歩道のかたばみや

桐の花あまりに高き遠き花

幸せの格差歴然さくらんぼ



さくらんぼ整列させて化粧箱
遺伝子のゆえに気短さくらんぼ

見るたびに七変化かな天道虫

塩加減こだわりありて豆ご飯
グリーンピース爽やかな香り炊き込み
グリーンピース昆布風味の炊き込みに

蛇苺汚名に耐へて嘘をつく
蛇苺汚名に耐る秘密あり

古団地外れの空き地著莪の花
夏めくやうどんそろそろひやひやに

パソコンの音楽疲れ五月尽
AIの演歌氾濫五月尽



モロク俳句

モロクし底なし闇に白牡丹
モロクし朝な夕なに牡丹見る
モロクし夢はうたかた牡丹散る

新緑やモロク進み金もなし
モロクし花アカシアの香を忘れ
白ばかり花アカシアにモロクす

モロクし頭とんがる立夏かな
モロクし指をなめなめ立夏かな
モロクし五月の風に顔をあづけ

モロクし薔薇に溺れてあの世まで
薔薇の香に倦めばモロク怨恨事



モーロクしつまづ敷居花卯木
モーロクしパセリが隠す失敗を
モーロクし後悔ばかりパセリ噛む

初夏やモーロクすれど薔薇図鑑

リラ冷えにモーロク吾は酒を酌む
リラ冷えの夜の幽霊モーロクす
リラ冷えに人はまばらにモーロクす

不器用に生きてモーロク豆ご飯
豆ご飯豆を数えてモーロクす

風薫るモーロクすれど深呼吸
モーロクし不機嫌上等蛇莓

目に青葉骨なし魚モーロクし
芍薬の花に囲まれモーロクす



芍薬を活けてモーロク昼の酒

モーロクし疲れ目癒やす若楓
黄金虫モーロクすれど夜がある

石楠花や夕日が冷えてモーロクす
モーロクし高嶺の花と石楠花は

モーロクし思ひの丈を桐の花
夏がくるつるつるりとモーロクす

モーロクし我に碁敵柿の花

モーロクしまどろむ時間薄暑かな
モーロクし混沌として夕薄暑

モーロクし名前忘れた車輪梅
モーロクし反論できず芥子の花



葉桜となりてモーロク熟睡す
葉桜となりて後悔モーロクす

さくらんぼ数を数えてモーロクす
モーロクし色欲はがれ海月かな

著莪咲いてモーロク少し一休み
著莪咲けりモーロク我のあの世道

モーロクし蟻も迷子にふらふらと
蟻歩むモーロクすれどこの世あり

夏めくやモーロクすれど元気出せ
夏めくや西郷像もモーロクす

モーロクし計画倒れ五月尽



たべもの俳句

揚げきざみたけのご飯定番を
たけのこの香りを素朴土佐煮かな
出汁きかせたけのこ煮物常備菜
たけのこを手軽なおかずきんぴらに

べビーホタテ極旨つまみオイル漬け
おつまみにホタテのバター醤油焼き

ハンバーグうまく焼けたぞ初夏となる
海老チリの海老の弾力夏に入る

にんにくで鰹つけ井スタミナを
竜田揚げ新鮮鰹ジューシーに

目に青葉肉だしつゆのつけうどん



シンプルにグリーンピースで豆ご飯

さやのまま空豆焼いて香り立つ

そらまめをからりと揚げておつまみに
そらまめを揚げ焼きにしておつまみに

かつおぶしたつぶり加えふき土佐煮
旬の味露とお揚げの含め煮を

ふき茹でてぱっとナムルにおつまみに

皮をむきふきのおひたし常備菜

茹でたふきめんつゆつけておひたしに

レンジチンスナックえんどう胡摩和えに

レンジチンスナックえんどうナムルかな

スナックえんどう塩こんナムル無限かな

ペロン風スナックえんどうポリポリと



新じやがをしつとりほっこり甘辛煮
新じやがの小芋甘辛煮つころがし

チンジャオ風豚と新じやが炒め物
新じやがをカリカリジュワーソテーする
新じやがをのり塩味でソテーする

新じやがを揚げ焼きにして青のりを
新じやがのアンチョビソテーベーコンと
新じやがをオリーブ油で揚げ焼きに

二郎系キャベツ山盛りあふれけり

ツナマヨでパセリを和えて無限かな
目先変えパセリ天ぷら岩塩で
ほろ苦でパセリ天ぷらおつまみに
みじん切りパセリの風味混ぜご飯



ホタテバター焦げたししょうゆが食欲を
帆立カルパッチョリストランテの味わいに

昭和人麦飯好むノスタルジー
朝散歩そして麦飯お味噌汁

あじのなめろう薬味が絡み味噌のコク
甘辛く鱻の照り焼き箸進む
香ばしい鱻の照り焼き食進む





